

日本の近代史と共に歩んだ 黒住教の二百年。

岡山市の神道山に本部を置く黒住教は、「人は皆、天照大御神のご分心をいただく神の子」という教えのもと、日の出を拝み、丸く、大きく、あたたかい心を養い育てることを日々のつとめとしています。本年、教祖・黒住宗忠による立教から二百年。これからも、感動と感謝の心で、人に社会に誠を尽くしてまいります。

【1814年(文化11年)】
教祖・黒住宗忠が
天命直授



旧暦11月11日の冬至、昇る朝日に祈りを捧げていた黒住宗忠は、万物の親神である天照大御神と一体の境地に至る。この宗教的神秘体験を「天命直授」と呼び、この日が黒住教立教の日となる。

【1862年(文久2年)】
神楽岡・宗忠神社鎮座(京都市)

幕末の世情不安の中、教祖が昇天した後も門人たちが教えを広め、黒住教は日本各地に広がっていき、特に京都を中心に布教が展開され、教祖をまつる宗忠神社が京都市左京区の吉田山に鎮座。

【1865年(慶応元年)】
神楽岡・宗忠神社が
孝明天皇の勅願所となる

神楽岡・宗忠神社は、時の天皇である孝明天皇から「宗忠大明神」の神号を賜って鎮座し、孝明天皇が仰せ出された勅願所(天皇の命によって国家の安泰を祈願した社寺)として厚く信仰される。

【1885年(明治18年)】
大元・宗忠神社鎮座

教祖・黒住宗忠の生誕の地である岡山市大元にも宗忠神社が鎮座し、岡山市民の氏神格となつていく。多くの人の信仰を集める。ほどなく教団本部大教殿が隣接して竣工される。

【1886年(明治19年)】
第1回宗忠神社
御神幸齋行



毎年4月に行われる「宗忠神社御神幸」は、御神体を奉斎した御風鑿を中心とし、古式ゆかしい衣装を身に著けた千人の奉仕者が、大元と名園・岡山後楽園との間を往復して、世界の大和を祈る行事。

【1888年(明治21年)】
伊勢万人参り挙行

黒住家先祖代々仕えてきた今村宮の主神が天照大御神であることもあって、黒住宗忠は生涯に六度、伊勢神宮に参詣している。以後現在に至るまで、伊勢万人参りをはじめ伊勢神宮奉斎活動を続けている。

【1946年(昭和21年)】
天心寮の創設

第二次世界大戦終戦の翌年、戦災孤児をはじめ親が育てることができない子どもたちのための施設として、五代教主・黒住宗和が児童養護施設「天心寮」を岡山県赤松市に創設する。

【1967年(昭和42年)】
旭川児童院の創設

六代教主・黒住宗晴の呼びかけで、中四国を対象に重症心身障害児のための施設をつくる社会運動を展開。西日本で初めての本格的な重症児施設「旭川児童院」が岡山市北区の社会福祉法人旭川荘内に開院される。

【1974年(昭和49年)】
吉備の中山
神道山に
大教殿を竣工
遷座



都市化の波が激しい大元の地から、壮大な日の出を求めて岡山市北区尾上神道山に新しく大教殿を遷座し、日の出を迎え拝む日拝を毎朝つとめている。神殿には伊勢神宮の第60回式年遷宮の際に下賜された内宮の古材を使用。本部機能の各施設をはじめ、教祖の書き残した短歌や手紙、備前焼や絵画等を展示した宝物館などを併設。また、日常の生活排水を浄化して植樹した山地に戻す「神道山水サイクル」を稼働させている。

【1979年(昭和54年)】
世界宗教者平和会議に出席

アメリカで開催された「第3回世界宗教者平和会議」に、現教主・黒住宗晴が出席。ニューヨークでの開会式典にて「大調和への祈り」と題した開会の祈りをつとめる。

【1995年(平成7年)】
阪神淡路大震災に際して
50日間の炊き出し奉仕

「わたがし作戦50日」という名のもと毎日五千食を作って提供するボランティア活動を実施。翌年からは国際医療NGOのAMDAを支援するボランティアを毎年開催。また、東日本大震災に際しても、AMDAを通じて支援を続けている。

【2000年(平成12年)】
ミレニアム世界平和
サミットに出席



国連事務総長コフィ・アナン氏の呼びかけで「ミレニアム世界平和サミット」が国連本部総会議場にて開催。閉会の挨拶と祈りを教主・黒住宗晴がつとめ、日本使節団の幹事を副教主・黒住宗道がつとめる。

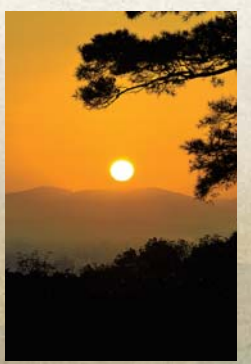
【2011年(平成23年)】
世界連邦平和促進
全国宗教者岡山大会を
神道山にて開催



全国から宗教者ら五百名が神道山に集い、大教殿の御神前において世界平和の祈りを捧げ、世界連邦運動の原点を学び合う。同年に発生した東日本大震災の犠牲者追悼の祈りも捧げられる。

【2014年(平成26年)】
立教二百年大祝祭挙行

立教二百年大祝祭に向けて、2年前から様々な奉祝行事を挙行。平成24年、神楽岡・宗忠神社ご鎮座百五十年記念祝祭を挙行。平成25年、第62回伊勢神宮式年遷宮の環として行われた「お白石持行事」に、二千人が特別神領民として参拝奉仕。そして本年秋、「立教二百年大祝祭」が行われる。



くろずみむねただ
黒住宗忠(1780-1850)
備前岡山(岡山市)今村宮の代々の社家に生まれ神職になる。若くして両親を失い、自身も労咳の病に伏すが奇跡的に回復。「天命直授」を機に、黒住教を立教する。

本年、黒住教は
立教二百年を迎えました。

教 二百年
黒住教立教
二百年奉祝



○平成24年
神楽岡・宗忠神社ご鎮座
百五十年記念祝祭



○平成25年
第62回伊勢神宮
式年遷宮お白石持行事



○平成26年
立教二百年大祝祭



○平成27年
大元・宗忠神社ご鎮座
百三十年記念祝祭



○平成28年
黒住教 伊勢万人参り